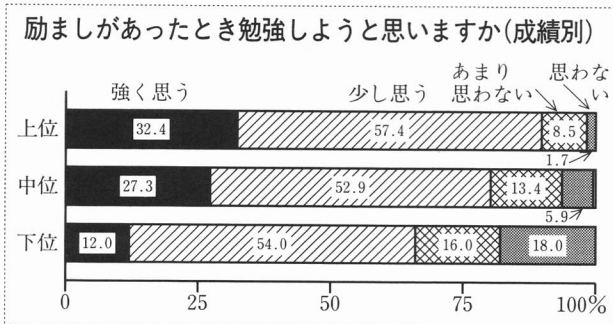


児の場合17.0%であるのに対し、下位児の場合36.0%である。

グラフ27



「家の人の励ましがあつたとき勉強しようと思ひますか」について成績別に見ると、「強く思う」については、上位児では32.4%と高いが、中位児では27.3%、下位児では12.0%と下がっている。また、「あまり思わない」「思わない」を合わせた場合、上位児では、10.2%であるが、下位児では、34.0%とその割合が増えている。上位児へは、励ましがほぼ有効に働いているが、下位児へは励ましの在り方、接し方等、工夫すべき点があるように感じられる。

(7) 生活のリズム

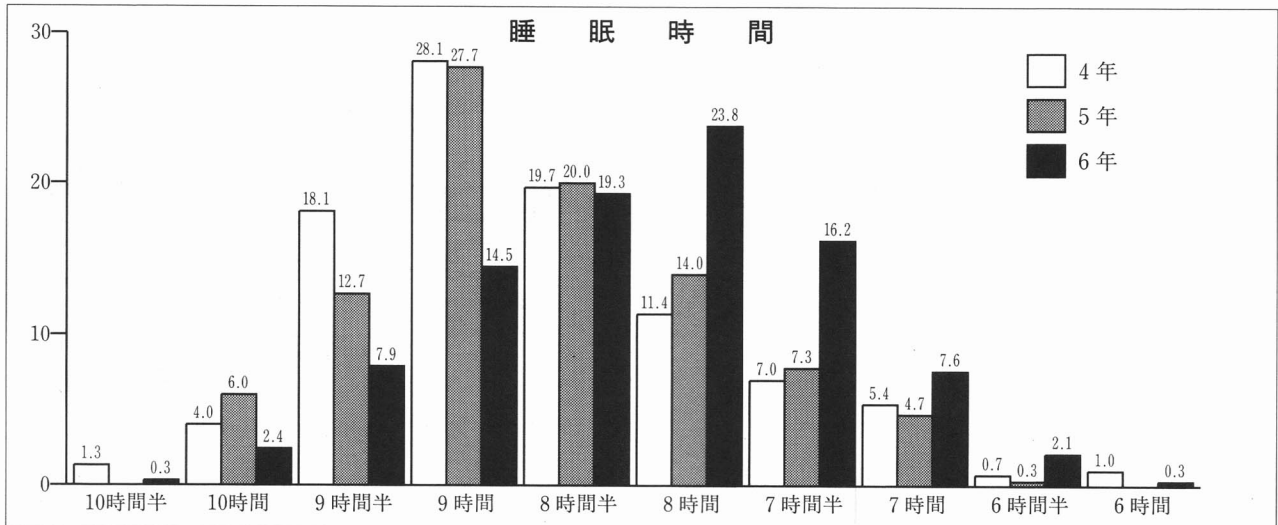
① 調査結果

※ 調査は、「昨日どうしたか」と限定して行った。

表2 起床・就寝時刻

項目	4年	5年	6年
起床時間	6時26分	6時27分	6時29分
就寝時間	9時45分	9時47分	10時14分

グラフ28



グラフ29

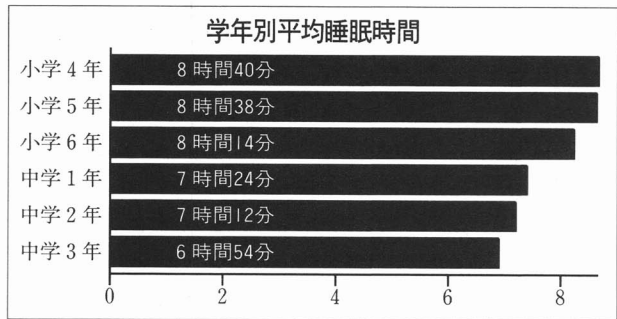


表3 生活時間の様子

項目	行動者の割合	4年の平均	5年の平均	6年の平均
テレビをみる	83.7%	1時間19分	1時間38分	1時間45分
マンガを読む	46.9%	26分	26分	33分
読書	34.6%	26分	27分	35分
音楽をきく	28.3%	26分	27分	31分
ゲームをする	29.1%	52分	50分	57分
友達と遊ぶ	33.0%	1時間31分	1時間38分	1時間25分
家族と話す	58.4%	36分	41分	41分

※ 「行動者の割合」とは、4～6年全員に占めるそれぞれの項目の行動をとった割合である。

② 考察

「起床時刻」は、平均すると6時半ごろで、6時～7時の間に約90%の児童が含まれている。

「睡眠時間」については、学年が進むにつれて短くなっている。4、5年では、「9時間」「8時間半」の順に多く、6年では「8時間」が最も多い。

生活時間の調査結果から、「テレビをみる」や「マンガを読む」等では、学年が進むにつれて時間が増加しているが、「友達と遊ぶ」については減っている。「マンガ」については、約半数の児童が読んでいる。